

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円



大井漁港

各地の住民要求 教育・福祉施策が前進

3月議会前に県下の各自治体で、住民の福祉と暮らしのための積極的な施策が少しずつ前進していることが、行政発表や新聞報道等で明らかになってきています。住民が請願したり、要望を粘り強く行政当局に伝え続けることで、暮らしやすい自治体づくりが実現してきています。

南知多町でも日本共産党と内田議員は、1月20日に具体的な住民要求を町長に届け、懇談しました。2月22日に文書回答もありました。少しずつ前進してきています。愛知県や知多半島の他の市町でも3月議会を前に、明らかに進んでいる施策をお知らせします。

南知多町 両島の乗船半額補助券 大人・小人とも4枚増

名鉄海上観光船の約半額の乗船補助券が南知多町から篠島・日間賀島両島の住民に出されています。しかし、病院や、買い物、介護に島から出かけるにもその枚数が少なく増やして欲しいとの願いが込められていました。

内田議員は、島民からの声を一般質問や、2023年度予算要望書で町に要求してきました。

南知多町は、県とも交渉し4枚増を実現しました。2023年度は、大人16枚から20枚に、子ども14枚から18枚になります。日間賀島の中学生には、1年間の定期券を発行して新中学校の通学を支えます。町民が粘り強く要求してきたことで前進したものです。



補聴器購入助成 予算化

知多市 50万円

知多半島の多くの自治体で高齢者の補聴器補助の運動や一般質問が実施されています。知多市では、日本共産党の2023年の予算要望時に、市長が「2023年度予算で、少しは要望に応える事を考えている」と答えました。予算は50万円で1人あたり上限が1万5千円の補助です。これまでの請願や予算要望で一歩前進しています。



大府市 45万円

大府市では1万円から3万円の補助で、収入によって補助額が変わります。対象は年齢や聞こえ方によります。45万円が予算化されようとしています。3万円なら15件分になります。

東浦町 防災 個別避難計画 作成 コーディネーター 配置

自ら避難することが困難な避難行動要支援者に対して、個別避難計画を作成する取り組みが進められています。東浦町では、ケアマネージャー等とその他の支援関係者との連携や、計画の管理、個別避難計画の周知を行うためのコーディネーターを、375万円で配置します。

南知多町でも内田議員がこれまで一般質問で取り上げてきました。積極的な災害対策支援として対策を講じてほしいものです。

東海市 带状疱疹ワクチン補助 中学校体育館エアコン設置

知多半島では大府市が带状疱疹ワクチンの一部補助を実施していますが、東海市も令和5年度から带状疱疹ワクチンの一部補助を実現することになりました。また、東海市では、6校ある中学校の体育館のエアコンを、本年度はさらに2校設置する予算がつけられます。



お梅やみコーナの設置も

突然の不幸があった時に、行政サービスが1つの窓口でできるように整備します。

新しい戦前などにさせないぞ
ウクライナ侵攻から1年、まだ戦争の火は消えない。日本でも戦争の準備が始まっている。ここで黙ったらそれこそ新しい戦前になってしまう。東京では岸田大軍拡に反対する市民のパレードが行われた。1人ひとりが反戦の意思を示そう。

東郷町 少人数学級 独自の加配措置

東郷町では、2023年に小6年まで35人学級(国は小4年、県は小5年まで)、2024年に小学全学年で30人、中学1年で35人学級を実現します。県内でも犬山市は30人程度学級、豊田市は小学1・2年30人学級、中学全学年35人学級実施、岡崎市は小学校32人学級を、令和10年度までに実施予定です。多くの自治体で、少人数学級のための積極的な予算が実現しています。

津島市 第2子以降保育無料へ 小中学校給食費半額補助

津島市は、県内で初めて第2子以降の保育料を無料化します。また
◎小中学校の給食費半額補助、
◎保育所などの副食費半額補助
◎おむつの処分費の補助を予算化も実施の予定です。
この他にも、0歳児の家庭におむつやミルク等を無料で届け、子育ての不安などの相談に応じる「0歳児選べる無料定期便事業」も、県内で初めて導入します。